学校番号	１００１

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本文教出版　『新・社会と情報』（社情 316）						
副教材等	３０時間でマスターOffice						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２　学習の到達目標

・情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し，情報社会に積極的に参画する態度を身につける。
・メディアの特性を踏まえ，情報を適切に収集・処理し，信憑性を判断したうえで，責任をもって発信する力を身につける。
・情報機器や情報通信ネットワークを活用し，他者とコミュニケーションをとりながら協働して問題を解決する力を身につける。
・情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解し，進展する情報社会に対応する基礎的な知識を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち，他者を尊重し，情報社会の一員として積極的に参画する態度を身につけている。	目的をもって情報を収集・分析し，論理的に思考することができるとともに，情報の受発信時には，情報モラル等の観点も含め，適切な判断ができる。	情報機器や情報通信ネットワークを活用し，状況に応じてメディアとコミュニケーション手段を効果的に使い分けながら，問題解決等に取り組むことができる。	情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用する知識を身につけるとともに，情報および情報技術の社会的意義や役割について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	**序章 社会と情報とは**	・情報社会について学ぶ意義 ・自己評価(情報モラル、基本操作と基礎知識)	○	○		○	b. d:「情報」とは何かを考える。 a:社会と情報での学習に見通しを持つ。 a. b:自己評価を通して自身の課題を見つける。	ワークシート ペーパーテスト 行動観察 実習作品 課題作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
1学期	第1章 情報社会に生きる私たち	・インターネットの広がり ・ソーシャルメディア(資料) ・サイバー犯罪 ・知的財産、個人情報、プライバシー	○	○	○	○	d:コミュニケーション手段の発達について理解する。 c. d:インターネット上のコミュニケーションサービスについて知る。 a. b. d:情報の信憑性を判断する方法を理解する。	ワークシート ペーパーテスト 行動観察 定期考査の結果
2学期	第2章 情報社会とディジタル技術	・情報のディジタル化 ・コンピュータネットワークのしくみ	○	○	○	○	a:情報の暗号化の重要性について理解する b. d:情報を数値であらわすという考え方を理解する。 b. d:情報量の単位について理解する。 b. d:アナログとディジタルの違いや特徴を理解する。 c:数値や文字をディジタル化する方法を理解する。	ワークシート ペーパーテスト 行動観察 実習作品 課題作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
2学期	第3章 情報社会と情報システム	・情報システム ・情報セキュリティ ・モデル化とシミュレーション ・データベースとビッグデータ ・アルゴリズムとプログラミング	○	○	○	○	a:情報システムと社会のつながりを理解する。 a. d:情報システムの具体例について知る。 b. d:ポイントカードを例に，企業による個人情報の活用例を知る。 c:簡単なプログラミングを設計できるようになる。	ワークシート ペーパーテスト 行動観察 実技テスト

3学期	終章　情報社会と問題解決	・情報格差、テクノストレス ・問題解決とは ・問題解決で使える手法	○	○	○	○	a. d:情報格差についての問題意識を持つ。 a. d:テクノストレスやインターネット依存に対する問題意識を持つ。 a. d:問題とは何かを知り，基本的な問題解決の流れについて理解する。 b. c:アイディアを広げる方法について理解する。	ワークシート ペーパーテスト 行動観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。